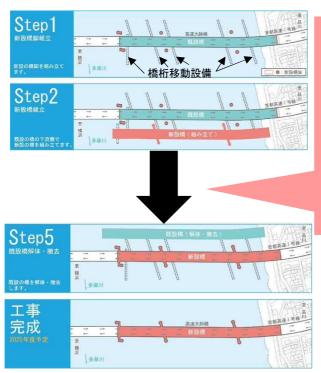
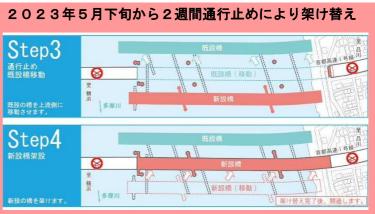
【通行止め時の工事内容】

今回の架け替え工事は、既設橋および新設橋を河川内に設置した橋桁移動設備によってスライドさせる「横取り一括架設工法」にて実施します(下図 Step3、4)。この工法を採用し、新設橋の大部分を事前に完成させた状態で架け替えを行うことで、通行止め期間の短縮を図っています。このほか、通行止め期間中には、架け替え前に実施することができない舗装工事や区画線工事などといった最小限の工事を行います。





【工事進捗状況写真(2022年9月時点)】





【高速 1 号羽田線高速大師橋更新事業の概要】

高速1号羽田線の多摩川渡河部に位置する高速大師橋は、1968(昭和43)年の開通から50年以上が経過しました。多摩川の流れを阻害しないよう、橋脚の間隔が長く、軽量化したことにより、橋がたわみやすい構造であることにくわえ、多くの自動車交通による過酷な使用状況から、橋梁全体に多数の疲労き裂が発生しております。これに対し、日々、点検・補修を行っていますが、新たな疲労き裂の発生が確認されており、長期的な安全性を確保する観点から、疲労き裂が発生しにくい構造への更新(造り替え)をおこなっております。

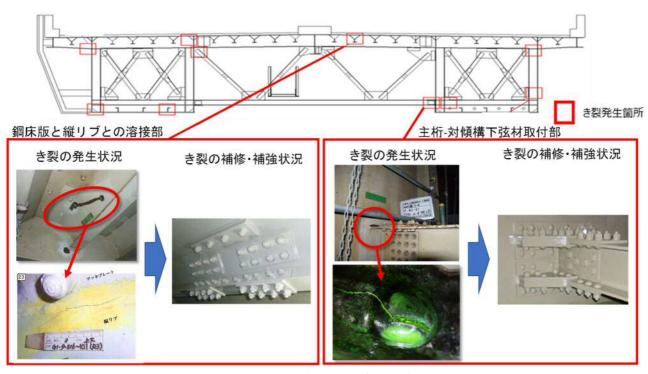
○橋長 292m

○橋桁重量 約4,000トン

○構造 橋梁形式:鋼3径間連続鋼床版箱桁ラーメン橋

橋脚形式:鋼-鉄筋コンクリート複合橋脚(門型柱) 3 基 (河川部)鉄筋コンクリート橋脚 1 基 (陸上部)

基礎形式:鋼管矢板井筒基礎(河川部)、鋼管杭基礎(陸上部)



高速大師橋 損傷状況と補修・補強状況

■最新情報については、下記 HP よりご確認下さい。 https://www.shutoko.jp/ss/daishibashi/

